

Monthly

| Yamagata North Rotary Club 2024-2025 |
国際ロータリー第2800地区 山形北ロータリークラブ

Rotary
District 2800



REPORT



国際ロータリーのテーマ
2024-2025 年度 国際ロータリー会長
スチファニー・アーチック



June 2025

第2683回

ボルダーバレー RC との姉妹クラブ締結

ボルダーバレーロータリークラブ訪問団

第2684回

水源涵養林整備事業例会

小鹿真之さん（山形市上下水道部総務課長）

第2685回

一年を振り返って

富塚充会長・小山裕久幹事

第2686回

最終例会

ロータリーの未来にむけて
イノベーションをおこそう

2024~2025年度 山形北ロータリークラブ会長

Mitsuru Tomitsuka

富塚 充

57th
SINCE 1968
YAMAGATA NORTH RC

2800 地区のテーマ | ロータリーにもっと誇りを そして学び DEI の心を持って行動実践しよう

山形北ロータリークラブのテーマ | ロータリーの未来にむけて イノベーションをおこそう

会長／富塚 充 | 幹事／小山裕久 | 事務所／山形市香澄町 2-9-21 (株)×コム内 電話 090-1445-4120 FAX 642-1618

第2683回 2025年（令和7年）6月5日（木） 場所：ホテルメトロポリタン山形

ボルダーバレー RC との姉妹クラブ締結に関する報告



姉妹クラブ再締結協定書を持つ、井上委員長、スティーブ会長、ダイアナ委員長、富塚会長

2025年5月、山形北ロータリークラブは、アメリカ・コロラド州ボルダー市を訪問し、現地のボルダーバレーロータリークラブとの姉妹クラブ再締結式を行いました。

富塚会長、小山幹事を含むメンバー5名が参加し、現地では温かな歓迎を受けながら、クラフトビール文化で知られるレストラン「TWISTED PINE」での交流会や、ボルダー市長への山形市長からの親書の授与などが行われました。

また、両クラブ代表による協定書への署名により、改めて姉妹クラブとしての絆と今後の連携が確認されました。翌日にはボルダー・ボルダーにも出場し、5名が無事10kmを完走。スタート地点では

全員の名前が呼ばれるサプライズもあり、会場は大きな盛り上がりになりました。

その夜には、両クラブの今後の協力体制や国際的なプロジェクト連携について意見交換を行い、より持続可能で実りある関係を築いていくことを確認しました。

この訪問は、単なる友好の再確認にとどまらず、未来に向けた新たな協働の第一歩として、大きな成果を収めました。

なお、2025年9月にはボルダーバレーロータリークラブのメンバーが山形を訪問予定です。私たち山形北ロータリークラブ一同、再会を心より楽しみにしております。



Melissa Diary メリッサの近況報告

6月7日、第28回日本青少年交換研究会青森会議で行われた日本語スピーチコンテストで、見事（惜しくも）第2位！
山形でのおばあちゃんとの心温まるエピソードから世界平和へ願いを込めた壮大なストーリーが評価されました。賞品の「黒石こけし」にはちょっと困った顔のメリッサでした。



第2684回 2025年（令和7年）6月12日（木） 場所：宝沢中央公民館 変更例会「水源涵養林整備事業例会」



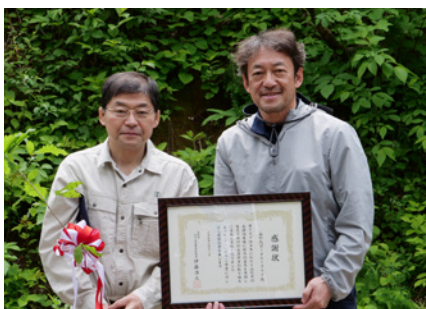
6月12日は、変更例会として社会奉仕委員会担当のもと、最上川物語第二章「水源涵養林の整備事業例会」が行われました。

第一部として山形市上下水道部の小鹿真之総務課長より水源涵養林について卓話いただきました。水源涵養林は蔵王ダムの西側に位置し広さは霞城公園約二個分ほどになります。水源涵養林のはたらきは樹木に降った雨を水分として蓄えたり、土砂崩れや雪崩などを防ぐ機能もあり、「緑のダム」と言われます。山形市上下水道部のように水道事業体が水源涵養林を管理しているのは山形県では山形市のみで東北地方では5事業体のみとなっています。涵養林の樹木の状況はスギなどの人工林と天然の樹木でしたがスギなどの針葉樹よりも保水力の高い広葉樹主体の複層林へと変えようとしています。令和5年5月で通水100周年となりました。市民の暮らしを支える上下水道をみなさんの協力を得ながら新たな100年に繋いでいきたいと思います。最後に近年、全国的に大きな被害をもたらす自然災害がたびたび発生しています。山形市では災害時に市内に28箇所の拠点給水所を設置します。できるだけ各家庭でお風呂やペットボトルを利用して日頃から水のため置きをしていただきたいと思います。



山形市上下水道部の小鹿真之総務課長より水源涵養林について説明を受ける

第二部として水源涵養林区域に移動し植樹式を行いました。初めに当クラブから苗木の贈呈を行い、続いて上下水道事業管理者の伊藤浩之様より感謝状を頂戴しました。その後山形市森林整備課の職員の方から植樹方法の説明を受けて参加者全員で苗木300本の植樹を行いました。将来豊かな森になってもっと美味しい水が飲めるように心を込めて植えました。



第2685回 2025年（令和7年）6月19日（木） 場所：ホテルメトロポリタン山形

卓話「一年を振り返って」

富塚充会長・小山裕久幹事



富塚・小山丸は、皆様のお力で無事帰港いたします。
一年間、本当にありがとうございました。

Mitsuru Tomitsuka

本日の卓話は、小山幹事と富塚会長に、「一年を振り返って」というタイトルで卓話いただきました。



テリティのあり方は見事なものであり本当に気持ちよく例会運営をすることができました。ありがとうございました。

また那須事務局員の迅速かつ的確な判断と対応により、不足しているところを幾度となく助けていただきました。素晴らしい事務局員でした。

富塚会長にはいつも温かく接していただき感謝の念に堪えません。
1年間本当にありがとうございました。

「一年を振り返って」

2024-25 山形北ロータリークラブ 会長：富塚 充

富塚・小山丸は一年間の航海を無事に終え、いよいよ来週帰港いたします。ここまでやってこられたのは、皆様の温かいご指導とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

「この1年を振り返って」

2024-25 山形北ロータリークラブ 幹事 小山 裕久

富塚会長が掲げた「ロータリーの未来に向けてイノベーションをおこそう」のテーマのもと、いまの時代に合った運営や仕組みを検討し、できることを実行した1年間でした。LINEを活用した連絡の実施や会報の発行の方法などは特筆すべきことではないかと思えます。幹事としての役割で大切なことは円滑でわかりやすい会員の皆さんが参加したくなるような運営をこころがけること、収支状況を把握し予算の執行がどのようになっているかを注視すること、決算をしっかりとこない次年度に引き継ぐことを念頭に置きながら任務にあたってきました。会員皆様に対してご面倒をおかけしたことも多々あったかと思えます。深いご理解と温かいご協力のもと何とか任務を全うすることができました。

また大きな変更点として例会場の変更がございました。ホテルメトロポリタン山形様のスタッフの方々の対応力の素晴らしさやホスピ

■「ロータリーの未来に向けてイノベーションをおこそう」

今年度のテーマは、「ロータリーの未来に向けてイノベーションをおこそう」。新たな価値を創造し、社会にインパクトをもたらす革新、刷新、変革を目指しました。

前年度は、当クラブから26年ぶりに伊藤三之ガバナーが誕生し、小関会長の「どうもっす」がクラブ内に定着するなど、特別な一年となりました。特に地区大会の成功は感動的で、「この次の会長は大変だな」と、少し気が重くなったのを覚えています。

そんな中、例会場の変更という大きな挑戦に取り組みました。これは前年度からの連携、そして多くの皆様の協力があったからこそ実現したものです。変更によって退会者が出ることもなく、全員で新たな会場へと移行できたことは、大きな成果でした。私にとっては最大の「イノベーション」であり、この出来事だけでも記録と記憶に残る一年となったと自負しております。

■ 国際交流と友情の広がり

【モンゴルとの交流（7月）】

モンゴル・フレー RC とは、7 年前のクラブ 50 周年記念の際に友好クラブを締結。そのご縁から、今年 7 月の米山学友創立 10 周年記念式典（7 月 19～23 日）に 12 名で参加しました。本多さんが団長を務めてくださり、現地では連日のように「ウォッカ祭り」の歓迎を受けました。伊藤直前ガバナーが寝坊して遅刻する一幕も（笑）。国会議員となったジャンチブさんの案内で、モンゴル国会内にも入ることができ、貴重な体験となりました。

【ボルダーバレー RC との再締結（5月）】

5 月には、ボルダーバレー RC との姉妹クラブ再締結のため、5 名で渡米。現地のスティープ会長、加藤栄子さんをはじめ、ボルダーバレーの皆さんから温かく迎えていただきました。ボルダーの澄んだ空気と、深まる友情に胸が熱くなりました。

■ 社会貢献活動

- ・戸沢村の豪雨災害支援
- ・「クローバーの会やまがた」全国大会支援
- ・メリッサさんの修学旅行支援
- ・姉妹クラブ再締結の旅費支援

いずれも、皆様に何度もご協力やご寄付をお願いしましたが、そのたびに温かいご支援をいただきました。このクラブの「心の広さ」と「行動力」を、私は心から誇りに思っております。

■ 親睦・イベント

親睦活動委員会（三浦委員長・庄司副委員長）には、例会場変更に合わせたメトロポリタンでのビアパーティー、RI テーマ「ロータリーのマジック」にちなんだマジックショー、夜例会後の二次会の設営など、さまざまな無理を聞いていただきました。

7RC 対抗ゴルフ大会では、団体戦で見事 2 連覇を果たし、個人戦では私自身が優勝。これは諏訪神社例大祭で神輿を担いだご利益でしょうか。さらに北クラブ主幹で、初の 7RC 親睦ボウリング大会も開催。ゴルフとは異なる笑顔とハイタッチがあふれる、楽しいイベントとなりました。

■ 留学生メリッサの成長

本年度の大きなテーマの一つが、交換留学生の受け入れでした。空港で彼女を迎えたとき、「可愛いけれど、日本語は大丈夫かな？」と不安を感じたのを覚えています。

しかし、彼女は努力を重ね、日本語スピーチコンテストで準優勝という成果を残しました。皆様の温かいサポートの賜物です。メリッサと妻と 3 人で秋葉原のメイドカフェに行ったことは、彼女にも私たちにも忘れられない思い出となりました（笑）。

■ 地区活動と環境保全

地区目標「それぞれの最上川物語 PART II」の一環として、6 月 12 日に水源涵養林整備事業を実施しました。5 年ぶり 4 回目の開催で、ブナ・ミズナラ・ヤマザクラを計 300 本、40 名以上の参加者で植樹。天候にも恵まれ、素晴らしい活動となりました。社会奉仕委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。

■ クラブの広報と記録

SNS や WEB を活用した情報発信にも挑戦しました。会報委員会・赤沼委員長の尽力で、月報のクオリティは大きく向上しています。ぜひこの一年の記録をご覧くださいと思います。

■ 個人的なご報告

私の会社も 2023 年に創立 50 周年を迎え、社名変更、2025 年には新社屋が完成しました。この節目が会長年度と重なったことに、深いご縁と感慨を覚えております。

■ 最後に

年度初めのメッセージで述べたように、ロータリーの活動は社会貢献や国際交流、環境保護にまで広がります。今後は WEB や SNS の活用、他国クラブとの連携、そして「イノベーション」の導入が、クラブの認知度向上・会員増強・世界平和への貢献に繋がると信じています。

また、環境や社会課題への取り組みは、ロータリーの理念「奉仕の理想」の具現化であり、地域社会への貢献に繋がります。

伝統を大切にしつつ、時代に即したイノベーションを取り入れることで、より多くの人々に影響を与える活動が可能になると考えています。会員一人ひとりがロータリーの理念を支持し、活動に積極的に参加し、親睦を深め、友情や相互尊重を育むことが、未来のロータリーにとって極めて重要です。

2024-2025 年度 重点目標

- ・積極的な例会参加と親睦を通じた有意義な情報交換
- ・「山と海のつながり」を学び、陸の豊かさを考える（最上川物語）
- ・青少年交換事業と米山奨学生との関わりの深化

掲げた目標は、ほぼ達成できたのではないかと感じています。

なお、小山幹事とは年度初めに方向性を巡って意見がぶつかったこともありましたが、その後は常に私を支えてくれました。「やりたいうようにやってください」という一言に幾度も背中を押されました。最後には「もう十分やり切ったでしょう。あとは思い出作りですよ」とも。小山幹事、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

富塚・小山丸は、皆様のお力を頂き無事、帰港いたします。

一年間、本当にありがとうございました。



第2686回 2025年（令和7年）6月26日（木） 場所：亀松閣

変更例会「最終例会」



6月26日、山形の歴史ある「亀松閣」にて、山形北ロータリークラブの最終例会ならびに懇親会が盛大に開催されました。

最終例会は、富塚会長のご挨拶からスタート。「富塚・小山、無事にこの場に帰ってくることができたのは、皆さんのおかげです。一年間本当にありがとうございました。」と、感謝の気持ちを込めて、1年間の活動を振り返りました。

続いて、イタリアからの留学生メリッサさんによる卓話「イタリア私の街の紹介」が行われ、彼女の故郷の文化や街並みについて楽しい話を聞くことができました。

出席・ニコニコ委員会からは、今年度の出席・ニコニコの表彰が発表され、次のような成果が報告されました。モストバリュアブル出席賞は、赤沼明男会員、佐藤幸蔵会員。新人賞（今年度入会）は、齋藤克也 会員。モストバリュアブルニコニコ賞は、武田弥栄 会員。ラッキー賞（最終例会までに2回当選）は、佐藤幸蔵 会員。

今年度のニコニコ総額は150万6千円と、会員の皆様の温かいご協力が際立つ一年となりました。

続いて新旧役員の交代セレモニーが執り行われ、富塚会長から野村新会長へ、小山幹事から岡新幹事へ、ロータリーバッジが引き継がれました。

小山幹事は「かけがえのない一年間を過ごすことができました。ありがとうございました。」と述べ、富塚会長は「各委員長、会員の皆さんのおかげで、無事にこの一年をやりきることができました。本当にありがとうございました。」と締めくくりました。

次年度を担う岡新幹事は「出逢いは宝 未来へつなごう」を体現すべく、全力で頑張ります」と力強く抱負を語り、野村新会長は「富塚会長、小山幹事、一年間お疲れ様でした。お二人に心から感謝いたします」と、感謝の意を表しました。

その後の懇親会では、退会される中村勝義会員から最後のご挨拶をいただき、山形舞子の華やかな舞で会場は一層華やぎました。

また、メリッサさんの山形滞在を支えたサポートチームがまとめた写真と映像が上映され、この一年間の思い出が会場に温かく広がりました。さらに、富塚会長からはスペシャルプレゼントも。

モンゴル、ボルダー、青森とお付き合いいただいた赤沼明男会員、井上智之会員へ感謝のプレゼントが贈られ、事務局の那須さんにも富塚会長・小山幹事から労いの品が手渡されました。

最後は、次年度野村会長による「花笠締め」で、盛大に締めくくられました。



点鐘／18：00

ロータリーレート／1ドル＝142円

会長挨拶／富塚充

本日出席／69名（会員総数93名）

クラブ会報アーカイブ
各例会のニコニコ BOX は
こちらの QR コードからご覧下さい

■クラブ会報アーカイブ



■ニコニコ BOX

